

幼 兒 の 教 育

昭和七年九月

同 志

園は狭い。組の室は更に小さい。保母室の机は、方何尺にすぎぬ。

しかも今、あなたと同じころを以て、幼き子らのために盡してゐる同志は、世に決して少なくない。訪れ交はして相語る近き友の他に、多分あなたの思ひよらぬ多くの同志が、西に東に、南に北に、同じ働きを働いてゐる。

あなたが、日々の保育に軽く疲れた時、日本の地圖をひろげて、どこでもいゝ指を置いて御覽なさい。そこにはすぐに同志の所在を見出すであらう。さらに、その指を右へでも左へでも動かして御覽なさい。それはすぐ、太い同志線を描き得るであらう。それが済んだら、又、その指をあなたの位置へ戻して御覽なさい。あなたの指さきに新しい力が籠つて、きつと何ものか強いものを感じずにはゐられまい。

相識り、相見る機会があつてもなくても、あなたは之等の同志と共に、天下に志を行ひつゝあるものである。殊に今日は、その同志の数が、恐らく今までに嘗て無かつた勢を以て、年々歳々増加してゐる。あなたは、その大勢裡に事を行ふてゐるのである。

秋高く天廣し、幼き子らの笑顔を中心として、同志は、あなたに力をあはせんとし、又、あなたの力を求めてゐる。